



## 裏小路周辺地区で交通実態調査を実施しました

裏小路のみちづくりの検討を進めるにあたり、裏小路周辺の交通実態調査を実施しました。

### 調査概要

規制速度 (30km/h) を超えて走行する車両が多い

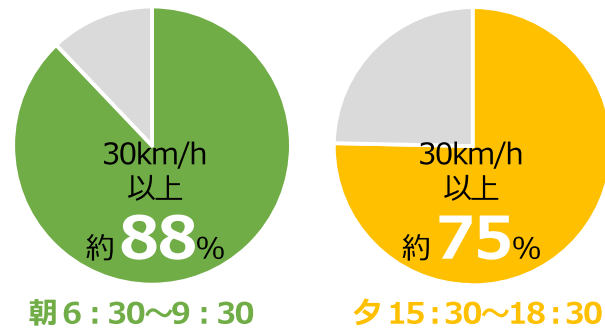
#### 調査日時

平成30年9月11日 (火)  
6:30~18:30 (計12時間)

#### 調査内容

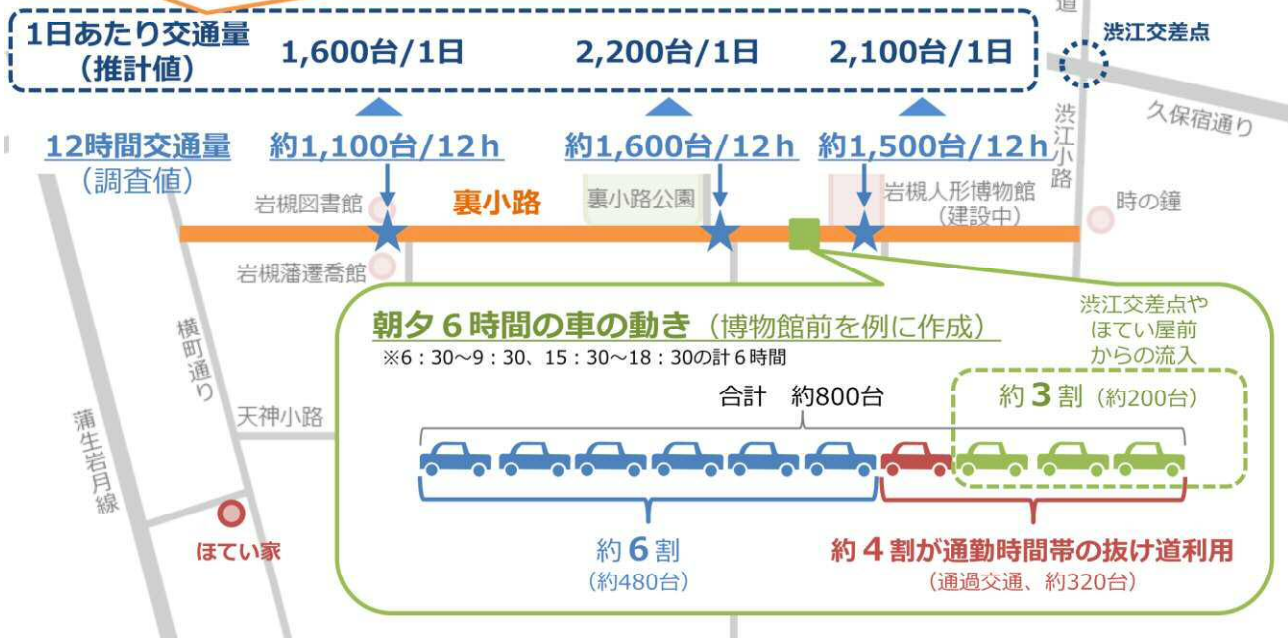
- ・自動車の交通量：3箇所で12時間の自動車の交通量を調査
- ・自動車の走行速度：岩槻図書館前で、自動車の走行速度を調査、朝夕3時間
- ・自動車の経路：ナンバープレートを基に自動車の経路を調査、朝夕3時間

朝夕の車両速度の調査結果



### 裏小路の交通量は非常に多く、また朝夕の約4割は抜け道利用

生活道路の標準的な計画交通量は500台/日であり、裏小路の交通量は非常に多いです



## 今後のスケジュールについて

### 次回活動予定

第19回協議会 (7月27日予定)

協議会会員数 23名



会員は随時募  
しております!  
皆様のご入会  
お待ちしております!

### まちなみづくりに関心のある方へ

・事前の申込みは不要 (自由参加) です。傍聴される方は当日、お気軽に会場までお越しください!

さいたま市ホームページに協議会の開催情報や協議会への入会申込書を掲載しています!

さいたま市のトップページ (<http://www.city.saitama.jp/index.html>) から

裏小路



# 裏小路まちなみづくり ニュース



発行：裏小路まちなみづくり協議会

第20号

問合せ先：さいたま市 都市局 まちづくり推進部 岩槻まちづくり事務所  
TEL：048-790-0234 FAX：048-790-0240

発行月：令和元年5月

本ニュースは、裏小路のまちなみづくりの活動を広くお知らせするものです。

第20号となる今回は、平成30年度に検討してきた裏小路みちづくり整備方針 (素案) と、裏小路周辺地区で実施した交通実態調査の結果についてご報告します。



## 裏小路の“みちづくり”について検討してきました

平成30年度の協議会では、平成30年2月に策定した「裏小路まちなみづくりの指針」の内容を踏まえ、まちなみと調和した“みちづくり”の実践に向け検討してきました。今回、平成30年度の“みちづくり”の検討をとりまとめた「裏小路みちづくり整備方針 (素案)」をご紹介します。

平成30年2月  
策定

## 裏小路のみちづくりに向けた取組の背景

### 岩槻歴史街道事業

### 『裏小路まちなみづくりの指針』

#### 目的

- ① “まちなみづくり”と“みちづくり”を住民等と市の協働で進める
  - ② 回遊ルート形成してまちなみ観光を誘い、人々が何度も訪れたいくなるようにぎわいを創出
- ※ 裏小路は先行的に取り組み第1次ルートの一つ

#### 目指す街並み

歴史・文化にふれあい、四季を楽しめるまちなみ

歴史的、文化的な雰囲気を感じられる岩槻藩遷喬館や時の鐘などの地域資源を生かし、裏小路らしいまちなみを形成していきます。

#### 裏小路のみちづくりの目的

- ① まちなみづくりと連携した道路整備により、裏小路らしさを強化
- ② 地元住民や観光客の安全性の確保
- ③ 回遊ルートの一つとして、岩槻駅周辺地区のにぎわいづくりに寄与



平成30年度  
から

### まちなみと調和した“みちづくり”の実践に向け検討

平成30年度に協議会5回開催

(14回 H30.7.29/15回 H30.9.2/16回 H30.11.23/17回 H31.2.9/18回 H31.3.16)

裏小路みちづくり整備方針 (素案) とりまとめ → 概要は p.2、3 をご覧ください

### 裏小路のみちづくりについてご意見をお聞かせください


裏小路のみちづくりに関するアンケート調査票を一緒にお配りしております。裏小路のみちづくりの内容やまちなみづくり、今後の変化に対する心配事などについて、ご意見、ご協力をお願いいたします。




# 裏小路みちづくり整備方針（素案）について

## 1 現状と課題

現状	課題
室町時代以降に城下町として発展して栄えた歴史のあるまち	歴史的、文化的資源と調和したみちづくりが必要
人形のまちとして全国的に有名なまち	裏小路周辺の観光回遊を促進するみちづくりが必要
生活道路にもかかわらず交通量の非常に多いまち	だれもが安全に安心して歩けるみちづくりが必要
沿道における“まちなみづくり”活動が活発なまち	地域交流やにぎわいづくりの場としてのみちづくりが必要




時の鐘




岩槻藩遷喬館

岩槻人形博物館・にぎわい交流館いづつき整備イメージ



通達時間帯（朝）の様子



敷地大緑化の好事例

## 2 みちづくりの整備方針

- 整備方針① まちなみとの調和**  
歴史的、文化的な雰囲気を感じられるまちなみとの調和に配慮します。
- 整備方針② 回遊性の向上**  
岩槻人形博物館等の開館に伴う来訪者のさらなる増加を見据え、来訪者が楽しく快適に回遊し、また来たいと思えるような裏小路らしいデザインとします。
- 整備方針③ 安全・安心**  
車中心のみちから、だれもが安全に安心して歩いたり交流することができる歩行者優先の道路空間づくりを目指します。
- 整備方針④ 沿道と一体となったにぎわい空間づくり、景観形成**  
裏小路の“みちづくり”の実施にあたっては、住民等が主体の“まちなみづくり”と協働し、裏小路の目指すまちなみの実施に向けた取組を推進します。

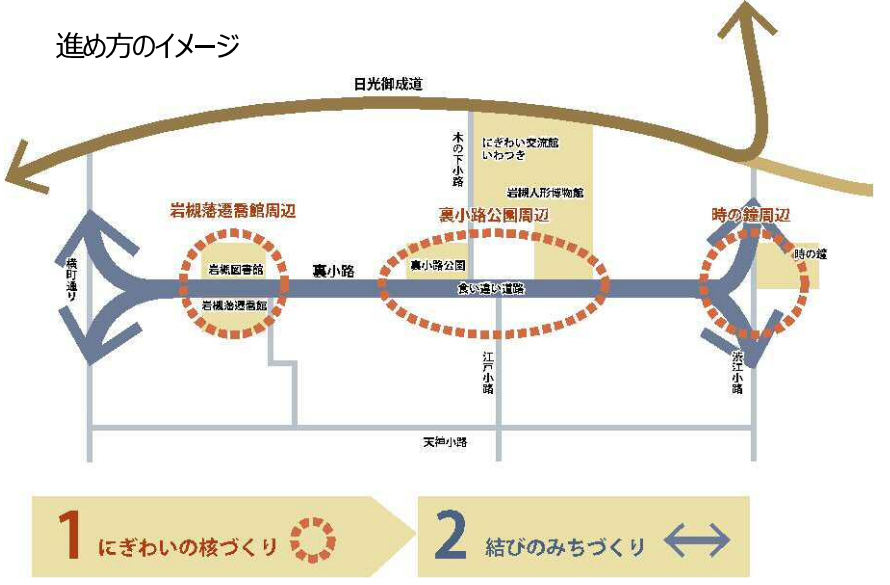
### みちづくりの進め方

#### “にぎわいの核”づくり

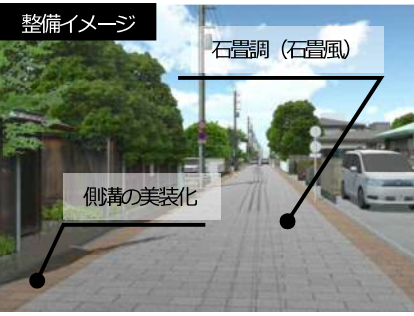
岩槻藩遷喬館、時の鐘、裏小路公園・岩槻人形博物館・にぎわい交流館いづつきの3箇所を核として、歴史・文化の伝承やにぎわいづくりを推進します。

#### “結びのみち”づくり


3つの核をつなぐ、住民や観光客が安心して楽しく歩けるみちづくりを検討します。




## 3 みちづくりの整備メニュー（案）

- 整備方針① まちなみとの調和**
    - 1：道路の美化化（舗装・照明）
      - 裏小路のまちなみに調和する和風を基調としたデザイン（石畳調）
      - 側溝も含めた美化化
      - 歩きやすさの確保
    - 2：無電柱化の検討
      - 無電柱化の可否や方式を検討（構造的条件や整備費、事業期間、沿道合意等を総合的に勘案）
- 

整備イメージ  
石畳調（石畳風）  
側溝の美化化




街灯のリニューアル  
電柱に照明灯を共架  
整備イメージ：共架型




電線共同溝方式  
整備イメージ  
電柱・電線のないすっきりとした景観  
地上機器の設置が必要
- 整備方針② 回遊性の向上**
  - 1：裏小路周辺の案内サインの充実
    - 岩槻藩遷喬館や時の鐘などをめぐるルートとして、来訪者への案内情報を充実
  - 2：江戸時代のみちの要素を取り入れた整備
    - 木戸や食い違い道路、岩槻藩遷喬館や時の鐘などの要素を取り入れた整備
- 

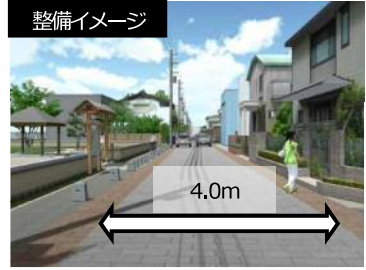
時の鐘の案内板




時の鐘・遷喬館への誘導サイン
- 


『岩槻古城八景』 城口眺望
- 整備方針③ 安全・安心**
  - 1：交通安全対策
    - 車両のスピード抑制や通過交通の流入抑制対策
  - 2：歩行空間と車道の分離対策
    - カラー舗装や舗装パターンの変化、車両通行規制の検討
- 

イメージ：狭さくの対策イメージ（食い違い道路）



整備イメージ  
4.0m  
舗装パターン等による視覚的な歩行空間の分離
- 整備方針④ 沿道と一体となったにぎわい空間づくり、景観形成**
  - 1：沿道敷地における緑化の促進
    - 快適な歩行環境のために、沿道敷地の立木や植栽の維持・保全
  - 2：歴史的資源を核としたにぎわい空間づくり
    - 岩槻藩遷喬館、時の鐘、裏小路公園周辺（裏小路公園・岩槻人形博物館・にぎわい交流館いづつき・食い違い道路）の3箇所、にぎわいの核となる空間づくり
  - 3：「裏小路まちなみづくりの指針」の推進
    - 指針の内容を推進し、江戸時代を連想させるまちなみを誘導
- 

行灯の設置



地区の催事等での設置、道路空間の活用